



うまかたやまんば
小澤俊夫 再話
赤羽末吉 画 福音館書店



おおかみと七ひきのこやぎ
グリム童話 フェリクス・ホフマン 絵
瀬田貞二 訳 福音館書店



おだんごぼん
ロシア民話
瀬田貞二 訳 脇田 和 絵
福音館書店



おふろだいすき
松岡享子 作
林 明子 絵 福音館書店



かいじゅうたちのいるところ
モーリス・センダック さく じんぐうてるお やく
かいじゅうたちのいるところ
モーリス・センダック 作
神宮輝夫 訳 富山房



ぐりとぐら
中川李枝子 文
大村百合子 絵 福音館書店



ことばあそびうた
谷川俊太郎 詩
瀬川康男 絵 福音館書店



もりのなか
マリー・ホール・エッツ 文・絵
まさきりこ 訳 福音館書店



よもぎだんご
さとうわきこ 作
福音館書店

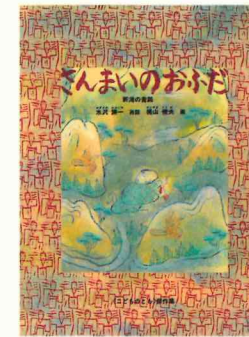
絵本を楽しむということ

絵本を読むということは、その字を読むということとは、ちょっと違うようです。言葉を耳で聞きながら、絵を読むことができた時、その子にしか見えない絵本の世界が広がる。実際にみるより、もっとありありと、もっと輝いて。その時、はじめて絵本を充分に楽しむことができるのだと思います。

たとえ大人であっても、文章と絵を同時に見ることはできません。ですから、絵本を読んでもらうことは、絵本の世界をつくりだし、絵本を充分に楽しむことのできる、唯一の方法といえます。

まして、それが大好きなお父さんの膝の上だったり、やさしいお母さんの声だったとすれば、こんなに心豊かな楽しいことがあるでしょうか。

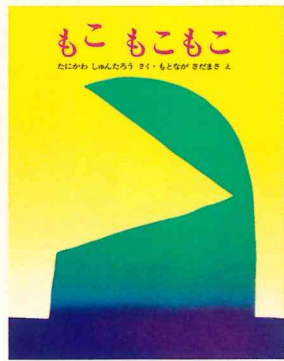
何度も何度も大好きな絵本を読んでもらうことは、言葉の楽しさ、不思議さ、あたたかさを体験することです。子どもが充分満足するまで、どうぞ繰り返し読んであげてください。



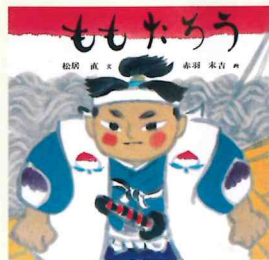
さんまいのおふだ
新潟の昔話
水沢謙一 再話
梶山俊夫 画 福音館書店



昆虫
得田之久 文・絵 福音館書店



もこもこもこ
谷川俊太郎 作 元永定正 絵
文研出版

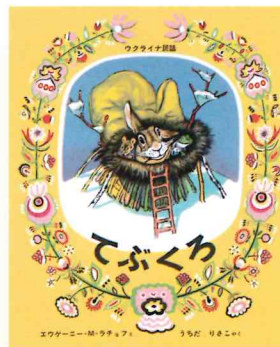


ももたろう
松居 直文 赤羽末吉 画
福音館書店

どろんこハリ-



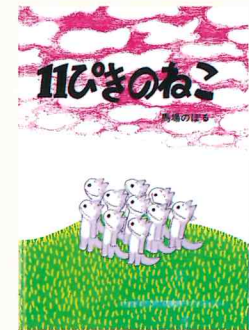
どろんこハリ-
ジーン・ジオン 文
マーガレット・ブレイ・ブレアム 絵
渡辺茂男 訳 福音館書店



てぶくろ
ウクライナ民話
エウゲーニー・M・ラチョフ 絵
内田莉沙子 訳 福音館書店



タンゲくん
片山 健 作
福音館書店



11ぴきのねこ
馬場のぼる 作
こぐま社



三ひきのやぎの がらがらどん
北欧民話 マーシャ・ブラウン 絵
瀬田貞二 訳 福音館書店



めつきらもつきら どおんどん
長谷川摂子 作
ふりやなな 画 福音館書店



みんなうんち
五味太郎 作
福音館書店



しょうぼうじどうしゃ じふた
渡辺茂男 作
山本忠敬 絵 福音館書店



じごくのそうべえ
上方落語
田島征彦 作 童心社